Ciscoネットワーク演習２　　　 クラス　　SK2A　　番号　　03　　氏名　　　文家俊

•12 – IPv6 アドレッシング

12.1 - IPv4 の問題  
 12.1.2 - IPv4とIPv6 の共存

IETFはネットワークをIPv6に移行するのに役立つさまざまなプロトコルとツールを作成していますが、その中の技術１つを説明してください

デュアルスタック：同じネットワークセグメント上でIPv4とIPv6を共存させることです。IPv4 と IPv6 の両方のプロトコルスタックを同時に実行します。

12.2 - IPv6 アドレス表現  
 12.2.1 - IPv6 アドレッシング形式

IPv6アドレス　fe80:0000:0000:0000:0000:0000:0144:1011　を圧縮表現で記述しなさい

Fe80::144:1011

12.3 - IPv6 アドレスのタイプ  
 12.3.1 - ユニキャスト、マルチキャスト、エニーキャスト

IPv6アドレスではブロードキャストアドレスがありませんが、すべてのデバイスに対してメッセージを送信するためにはどうしたらよいですか？

宛先に全ノードマルチキャストアドレスが指定する。

（ipv4のブロードキャストは、IP v６のマルチキャストに吸収された）

12.4 - GUA および LLA スタティック設定  
 12.4.1 - ルータへのスタティックな GUA の設定  
 12.4.3 - リンクローカルユニキャストアドレスの静的設定

インターフェイス g0/0 に、以下のアドレスを設定しアクティブにしなさい

LLA(リンクローカルアドレス) - fe80::1:144

GUA(グローバルユニキャストアドレス) - 2001:db8:acad:1::144/64

(config-if)# int g0/0/0

(config-if)# Ipv6 address fe80::1:144 link-local

(config-if)# IPv6 address 2001:db8:acad:1::144/64

(config-if)# no shutdown

(config-if)# exit

12.5 - IPv6 GUA の動的アドレッシング

IPv6のアドレス自動設定における、ステートフル、ステートレスの違いについて説明してください

ステートフル：DHCP サーバがホストへのアドレス割り当てを管理する

ホストは、サーバから割り当てられたIPv6アドレスを使用する

ステートレス：〜管理しない。

ホストは、ルータやサーバからの情報を使ってIPアドレスをs生成する

12.6 - IPv6 LLA の動的アドレッシング

問題　省略

**※このワークシートを埋めて提出してください。ファイル名のクラス番号氏名を変更すること。**